

株主通信 vol.45

空 気 と 水 の テ ク ノ ロ ジ ー

RYOWA REPORT

第74期 中間期 業績のご報告

2022年4月1日 ~ 2022年9月30日

- ① ごあいさつ／トップインタビュー
- ③ 施工実績
- ④ テクノ菱和の技術の紹介
- ⑤ 連結財務情報
- ⑦ 会社概要／株式の状況
- ⑨ 株主様アンケートの実施結果につきまして
- ⑩ 電子提供制度についてのご案内

空気と水のテクノロジー

株式会社 **テクノ菱和**
証券コード：1965



株主のみなさまには、平素より格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、テクノ菱和グループは、このたび第74期(2022年4月1日から2023年3月31日)の中間決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

株式会社テクノ菱和
代表取締役社長執行役員

黒田 英彦
Hidehiko Kuroda

Q 上半期の業績はいかがでしたか？

A 当社グループの上半期における連結業績は、受注高44,993百万円、売上高26,310百万円、営業利益904百万円、経常利益1,208百万円、中間純利益787百万円となりました。

当中間期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことで、非製造業を中心に景気は緩やかながら持ち直しの動きがみられました。当社の受注状況としては、国内企業における積極的な投資姿勢が維持されたことから、産業設備工事を中心として前年同期を上回る受注量を確保することができました。また、売上高につきましては、前年度から繰り越した手持工事が順調に進捗したことから前年同期より増加したものの、利益につきましては、資機材価格高騰による工事

粗利益率の低下等の影響により前年同期に比べて減益となりました。

中間期の業績	前中間期 (百万円)	当中間期 (百万円)
受注高	30,774	44,993
売上高	25,381	26,310
営業利益	1,104	904
経常利益	1,248	1,208
中間純利益	821	787

(注) 本報告書において、中間(当期)純利益は「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」を指します。

Q 上半期の取組みについて教えてください。

A 当社は、人事制度改正を実施し、従来60歳としていた定年年齢を65歳に延長する新たな制度をスタートさせました。建設業界では長らく就業人口の減少に伴う人材不足が大きな課題となっているなか、本制度の導入により従業員が安心して長く働き続けられる環境を整えることで、さらなる人材の安定的な確保と企業競争力の強化を目指してまいります。

また、CSR活動推進の一環として、「テクノ菱和CSR調達方針」の策定と「パートナーシップ構築宣言」の公表を実施いたしました。当社はこれらを実行することで、取引先のみなさまとの望ましい取引慣行を推進し、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組んでまいります。

Q 下半期の見通しを教えてください。

A 下半期につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が薄れ、経済活動は徐々に正常化していくことが期待されますが、資源価格高騰や日米金利差拡大を受けた円安による物価上昇圧力の影響が懸念されることから、引き続き予断を許さない状況が続くものと思われる。

建設業界におきましては、堅調な企業収益を背景に、コロナ禍で先送りされた投資が再開されるなど、積極的な投資姿勢が維持され、回復基調が続くことが見込まれます。

当期の連結業績見通しにつきましては、受注高66,000百万円、売上高60,000百万円、営業利益2,270百万円、経常利益2,500百万円、当期純利益1,630百万円を見込んでおります。

当期の見通し	前期末実績 (百万円)	当期末予想 (百万円)
受注高	59,603	66,000
売上高	56,905	60,000
営業利益	3,013	2,270
経常利益	3,385	2,500
当期純利益	2,237	1,630

Q 株主のみなさまへのメッセージをお願いします。

A 当社グループといたしましては、中期3か年事業計画に則り、医薬品・食品・電子デバイス関連をはじめとする産業設備工事を中心にバランスの取れた受注を推進し、事業基盤の確保に努めてまいります。また、同計画を達成するための具体的な重点施策の進捗状況をチェックしながら、DXによる働き方改革やESGへの取組みをはじめとする各目標の達成を目指し、企業価値の向上を図ってまいります。

当期の中間配当金につきましては、1株につき16円をお支払いすることとし、年間では期末配当金16円を加えた1株につき32円とさせていただく予定にしております。

なお、中期3か年事業計画(2022年3月期～2024年3月期)の期間中におきましては、1株当たり32円以上の年間配当金を安定的に継続することとし、利益成長に応じて配当を増額する方針としております。

当社グループのより一層の発展に向けて、全力で取り組んでいく所存でございますので、株主のみなさまにおかれましては、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

受注高	売上高	経常利益	中間純利益
44,993百万円 < 前年同期比 46.2%増 >	26,310百万円 < 前年同期比 3.7%増 >	1,208百万円 < 前年同期比 3.3%減 >	787百万円 < 前年同期比 4.1%減 >

受注高構成比 (総受注高に対する割合を示しています。)

産業設備工事

65.5% 29,491百万円

当中間期は、電子デバイスおよび医薬品関係の大型工事を受注できたことなどから、前年同期を上回る受注高となりました。今後も当社の得意とする産業設備工事を中心にバランスのとれた受注を推進するとともに、ライフサイクル一貫ソリューションビジネスを実践し、お客様との関係強化に努めてまいります。



電気設備工事

2.1% 958百万円

連結子会社の松浦電機システム株式会社が、発電設備、太陽光発電やLED照明などの省エネルギー技術の提案・施工・メンテナンスを実施しております。



冷熱機器販売

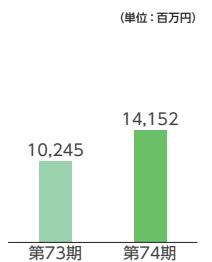
0.9% 390百万円

設備工事に関する空調機器等の販売を行っております。

一般ビル設備工事

31.5% 14,152百万円

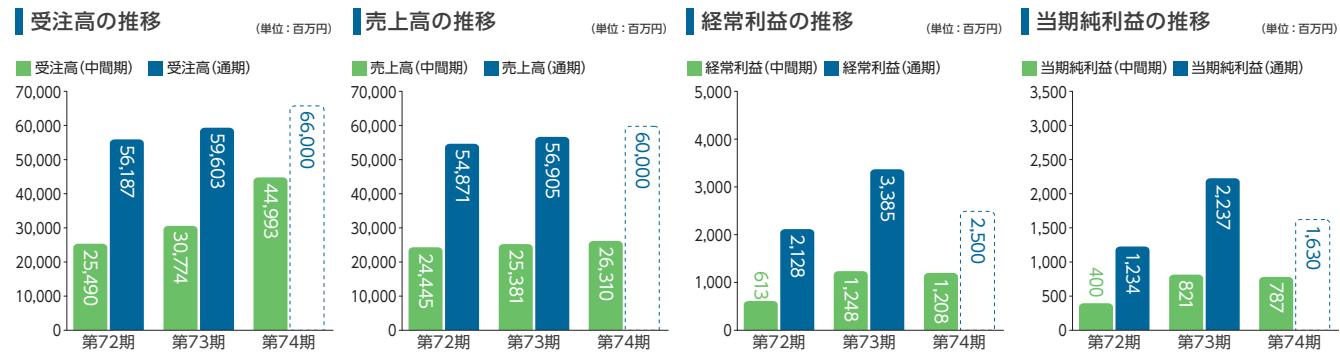
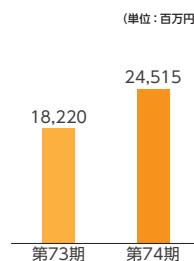
当中間期は、学校施設や事務所ビルなどを中心に受注が堅調に推移し、前年同期を上回る受注高となりました。今後も継続的な設備の更新需要を取り込むとともに、学校や病院をはじめとするインフラ需要にも対応し、受注量の確保に努めてまいります。



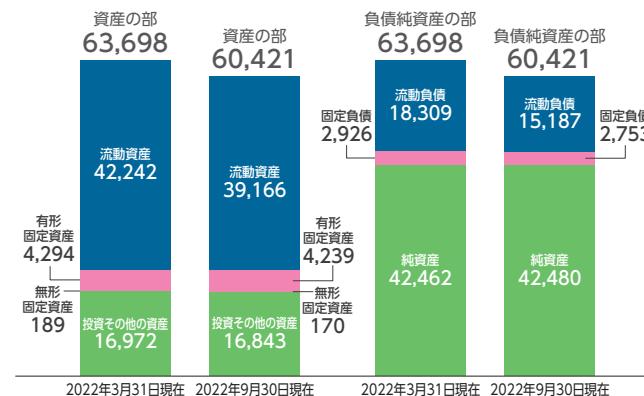
設備改善工事

54.5% 24,515百万円

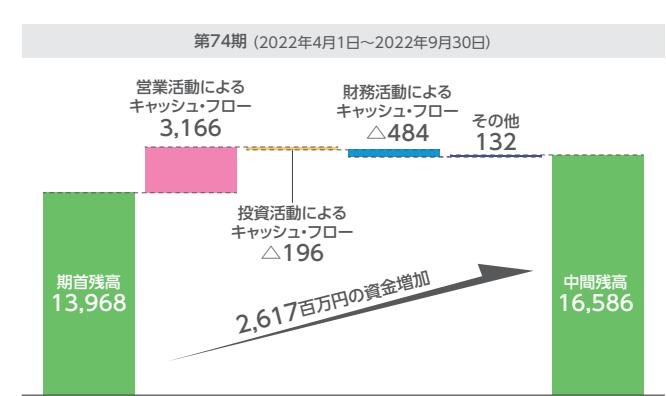
施設のロングライフ化に貢献するメンテナンス工事と経年劣化した設備の機能回復や、より効率的なシステムへの見直しを図るリニューアル工事を中心とした事業分野です。



貸借対照表の概要



キャッシュ・フローのポイント



財務のポイント

資産の部	負債の部	純資産の部	キャッシュ・フロー
流動資産における現金及び預金の増加25億円、受取手形・完成工事未収入金等の減少52億円、固定資産における退職給付に係る資産の増加1億円、投資有価証券の減少2億円を主な変動要因として、前期末と比較して32億円減少し、604億円となりました。	流動負債における支払手形・工事未払金等の減少26億円、電子記録債務の減少11億円、固定負債における繰延税金負債の減少1億円を主な変動要因として、前期末と比較して32億円減少し、179億円となりました。	利益剰余金の増加3億円、その他有価証券評価差額金の減少2億円を主な変動要因として、前期末と比較して1千万円増加し、424億円となりました。自己資本比率は前期末と比較して3.6ポイント上昇し、70.3%となりました。	税金等調整前四半期純利益の計上による資金増加11億円、売上債権の減少による資金増加49億円、仕入債務の減少による資金減少37億円を主な変動要因として、現金及び現金同等物は前期末と比較して26億円増加し、165億円となりました。

詳しい情報はウェブサイトへ

テクノ菱和 検索

会社概要 (2022年9月30日現在)

商号 株式会社テクノ菱和
(英文表記 TECHNO RYOWA LTD.)

設立 1949年12月23日

資本金 2,746,800,000円

上場 東京証券取引所スタンダード市場

従業員 769名 (連結896名)

本社 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号

登記上の所在地 東京都港区芝大門2丁目12番8号

事業内容 当社グループは、産業用空調、冷暖房、給排水、衛生、電気設備等の設計・施工管理といった設備工事業ならびにそれに付帯する業務を行っております。お客様のビジョンの実現に向けた計画提案、設計、施工、設備診断、アフターメンテナンスといったワンストップサービスを通じて、お客様を総合的にサポートしてまいります。

- 産業設備関連事業
- 太陽光発電事業
- 一般ビル設備関連事業
- 不動産賃貸事業
- 電気設備工事業
- 保険代理業
- 冷熱機器販売事業
- 建設資材製造販売業

主な事業所

技術開発研究所(神奈川県横浜市)	名古屋支店(愛知県名古屋市)
東京本店(東京都豊島区)	静岡支店(静岡県静岡市)
東関東支店(茨城県土浦市)	大阪支店(大阪府大阪市)
北関東支店(埼玉県さいたま市)	中国支店(岡山県倉敷市)
東北支店(宮城県仙台市)	九州支店(福岡県福岡市)
横浜支店(神奈川県横浜市)	海外事業部(東京都豊島区)

役員 (2022年10月1日現在)

取締役

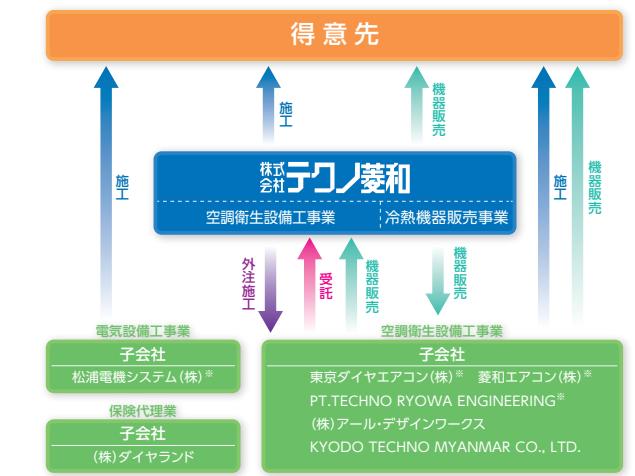
代表取締役	黒田英彦
取締役	加藤雅也
取締役	大石勉
取締役	袴田一博
取締役(社外)	武田公温
取締役常勤監査等委員	常木茂
取締役監査等委員(社外)	小坂井千春
取締役監査等委員(社外)	飯高弘史郎

執行役員

社長執行役員	黒田英彦
常務執行役員	加藤雅也
上席執行役員	黒田長憲
上席執行役員	窪和敏
上席執行役員	福士富三
上席執行役員	大石勉
上席執行役員	袴田一博
上席執行役員	鈴木俊夫
上席執行役員	伊豆丸暢
執行役員	齋藤吉信
執行役員	堀下浩
執行役員	武石義人
執行役員	武田和夫
執行役員	水野則康
執行役員	大塚弘之
執行役員	菊池智克
執行役員	門司泰宏

企業集団の状況 ※連結子会社

東京ダイアエアコン株式会社*	株式会社アール・デザインワークス
所在地 東京都新宿区	所在地 大阪府大阪市
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	主要な事業の内容 空調衛生設備工事業
菱和エアコン株式会社*	株式会社ダイヤモンド
所在地 愛知県名古屋市	所在地 東京都港区
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	主要な事業の内容 保険代理業
松浦電機システム株式会社*	KYODO TECHNO MYANMAR CO., LTD.
所在地 大阪府守口市	所在地 ミャンマー連邦共和国
主要な事業の内容 電気設備工事業	主要な事業の内容 建設資材製造販売業
PT.TECHNO RYOWA ENGINEERING**	
所在地 インドネシア共和国	
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	



株主優待制度のお知らせ

当社株式を決算期末日に100株以上ご所有の株主様に静岡の新茶をプレゼントいたします。

ご優待内容

ご所有株式数1,000株以上	静岡の新茶2パック贈呈
ご所有株式数100株以上1,000株未満	静岡の新茶1パック贈呈

ご優待品「特選茶」

株式の状況 (2022年9月30日現在)

発行済株式の総数 22,888,604株

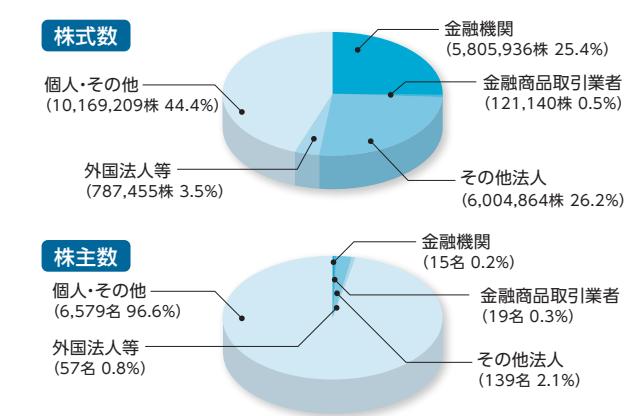
株主数 6,809名

大株主 (2022年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
テクノ菱和取引先持株会	2,316	10.6
三菱重工サーマルシステムズ株式会社	1,424	6.5
株式会社三菱UFJ銀行	1,071	4.9
株式会社みずほ銀行	1,071	4.9
東京海上日動火災保険株式会社	906	4.1
株式会社名古屋銀行	738	3.3
明治安田生命保険相互会社	734	3.3
テクノ菱和従業員持株会	726	3.3
株式会社京葉銀行	723	3.3
近重 次郎	672	3.0

* 当社は、自己株式1,117,084株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の分布状況 (2022年9月30日現在)

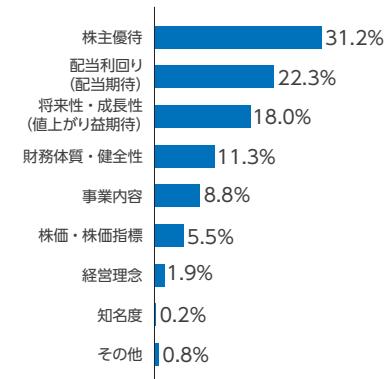


株主様アンケートの実施結果につきまして

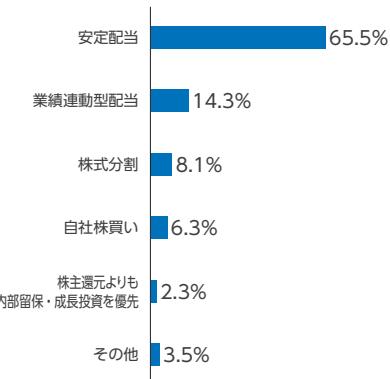
本年の株主総会後に実施いたしました株主様アンケートに多数のご回答をいただき、誠にありがとうございました。頂戴いたしました貴重なご意見・ご要望につきましては、今後の経営やIR活動に反映してまいります。今回のアンケート結果の一部をご紹介します。

実施期間：2022年6月28日～7月31日
 回答者数：1,122名
 回答率：16.3%

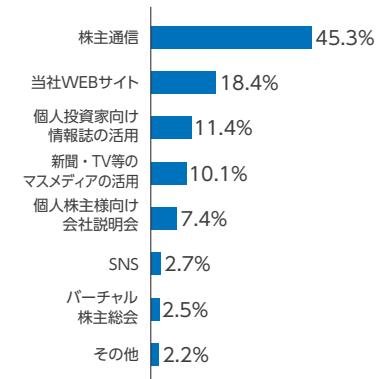
■ 当社株式を取得する際に重視されたことをお聞かせください。



■ 今後当社に最も望まれる株主還元策をお聞かせください。



■ 当社のIR活動について、充実を希望することをお聞かせください。



頂戴いたしましたご意見・ご要望の一部をご紹介します

配当性向の向上を希望します。

長期保有株主に優遇制度を設けてほしいです。

優待品を楽しみにしております。これからも続けてください。

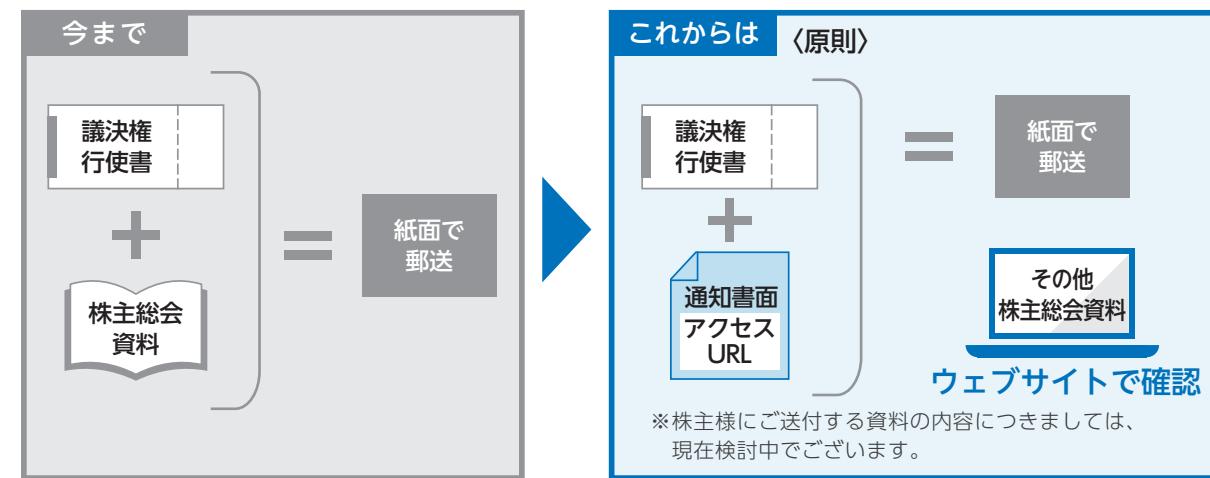
新製品の開発に期待します。

今回のアンケートで「封筒の窓部分のフィルムについて、紙製のものに替えてほしい」というご意見をいただきましたので、本株主通信の封筒から環境に配慮したグラシン紙に切り替えさせていただきました。また、株主優待に関する多くのご意見をいただきました。今後の株主様への還元策を検討するうえでの参考とさせていただきます。

株主総会資料の電子提供制度についてのご案内

会社法改正により株主総会資料が原則ウェブ化されます！

今般、会社法改正により、株主総会資料の電子提供制度が導入されました。この制度は、従来紙面で提供していた株主総会資料について、郵送に代えウェブサイトに掲載したうえで、ウェブサイトのアドレス等を書面で通知することによって、株主様に対して適法に提供したものとする制度です。当社におきましては、次回株主総会（2023年6月開催予定）より、株主総会資料の一部を当社ホームページでの掲載に切り替える予定にしております。



インターネットのご利用が困難な株主様へ

インターネットのご利用が困難な株主様におかれましては、「**書面交付請求**」のお手続きをさせていただくことで、引き続き書面でのお受取りが可能となります。2023年の当社株主総会資料の全部を書面でお受取りになりたい場合は、当社株主名簿管理人またはお取引のある証券会社を通じて、**2023年3月31日**までにお手続きください。作業の完了までには時間がかかる場合がございますので、余裕をもってお手続きを行ってください。

株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部）

- 書面交付請求書のお申込み：<https://www.tr.mufg.jp/daikou/shomenkoufu.html>
- 電子提供制度専用ダイヤル：0120-696-505 (受付時間：土・日・祝日を除く平日9:00～17:00)



※一連のお手続きには費用がかかる場合がございますのでご注意ください。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

単元株式数 100株

公告掲載URL <https://www.techno-ryowa.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

諸手続き
お問い合わせ先 【住所変更、買取請求その他各種お手続きについて】
●証券会社をご利用の株主様
お取引の証券会社等にお問い合わせください。
●特別口座に記録された株式をご所有の株主様
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
【未受領の配当金について】
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

株式に関するマイナンバー制度のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きの際に必要となります。なお、株式に関するマイナンバーの詳細につきましては、口座を開設されている証券会社等へお問い合わせください。

特別口座をご使用の株主様へ お早めに株式をお振替えください

特別口座に記録されている株式は、証券市場での売買を行うことができません（単元未満株式は除く）。また、特別口座で管理されている株式は相続や贈与時のお手続きが煩雑になってしまいます。

ご所有の株式が特別口座に記録されている場合は、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式をお早めにお振替えください。詳しいお手続きにつきましては三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

お手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL:0120-232-711 (通話料無料)

株式会社 **テクノ菱和**

<https://www.techno-ryowa.co.jp/>

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号

お問い合わせ TEL: 03-5978-2541



環境に優しい植物油インキ
を使用して印刷しています。

UD
FONT

